

「災害時の情報交換に関する協定」調印式について

～福島市と東北地方整備局で協定の調印を行います～

大規模な災害が発生した場合、国土交通省では被災自治体の要請等により緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)や災害対策車等を派遣して支援を行っています。
当協定の締結により、被災自治体に災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を派遣し、情報の収集・提供を行うことで、よりの確で迅速な活動が可能となり、災害対応に大きく寄与できるものです。

◆日時

開催日：平成23年2月22日(火) 14:50～15:20

◆場所

福島市役所 市長応接室 (4F)

◆協定者

福島市長	瀬戸 孝則
国土交通省 東北地方整備局長	徳山 日出男

◆調印式出席者

福島市長	瀬戸 孝則	
国土交通省東北地方整備局 副局長	澤田 和宏	他

(敬称は省略させて頂いております)

※ 本調印式のお知らせについては、福島市からも福島市政記者各位に別途ご案内しております。

〈発表記者會〉 福島県政記者クラブ、福島市政記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
電話番号 024-546-4331 (代表)
副所長(河川) 佐々木 秀明 (内線204)
防災課長 山口 是治 (内線281)

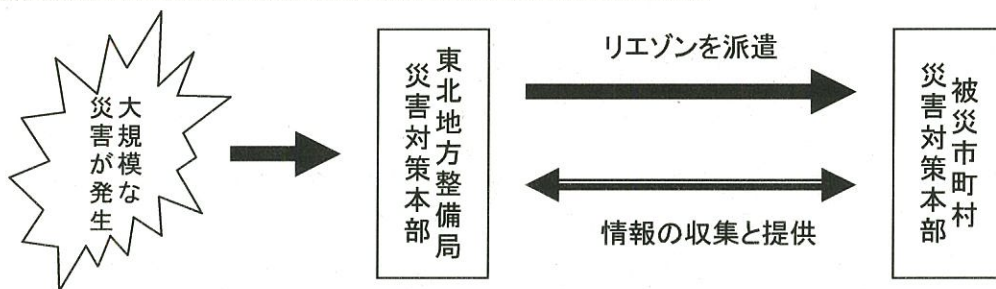
リエゾン（災害対策現地情報連絡員）について

大規模な災害が発生したときに支援の窓口として職員を派遣します。

〔目的と経緯〕

東北地方整備局の各自治体に対する支援活動内容としては、排水ポンプ車を始めとした各種災害対策車の派遣やヘリコプター等を使用した被災地の映像提供など、従来より必要に応じて災害対応支援を行ってきておりますが、よりの確かつ迅速な災害対応支援を実施するためには積極的な情報の収集及び提供が重要と考え東北地方整備局から各自治体災害対策本部に対して「現地情報連絡員」を派遣する制度を平成19年12月に創設しました。

※リエゾン（Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語）



・リエゾンから得られた市町村の被災状況の情報を基に TEC-FORCE や災害対策車の派遣などを判断します。

〔岩手・宮城内陸地震における活動〕

岩手・宮城内陸地震では、地方公共団体への支援活動を円滑に実施するため、岩手県庁、宮城県庁、一関市、奥州市、栗原市の災害対策本部に対して「リエゾン」を派遣し、直轄の被災状況やヘリ調査の飛行ルート等情報提供を行いました。また各市町村における被災情報等を本部へ報告し、TEC-FORCE及び災害対策車等の派遣支援を判断するなど、各自治体への支援を円滑に実施することができました。



宮城県庁での活動状況



岩手県庁での活動状況



災害対策現地本部（栗原市）の活動状況

リエゾンの活動内容

[提供する情報]

東北地方整備局所管施設の被災状況、ヘリの調査飛行ルート・映像配信の時間、TEC-FORCEの活動状況、災害復旧工事等の情報を提供します。



東北地方整備局「みちのく号」



荒砥沢ダムの被災状況
(ヘリによる調査)



TEC-FORCEの活動状況

※リエゾンとは災害対応の窓口ですが、直轄の被災状況や復旧等の詳細な内容については対応できない場合もあります。

その際には下記の問い合わせ先まで連絡頂くようお願いいたします。

[収集したい情報]

市町村における被災状況、県・市道の通行止め、地域の孤立化や避難勧告等の情報を収集します。

[リエゾンの派遣にあたってのお願い]

1. リエゾンの派遣は2名程度です。
2. 派遣する場合は事前に連絡して調整を行います。
3. 派遣前にリエゾンの氏名・所属・到着予定時刻を連絡します。
4. リエゾンに机とイスの提供をお願いします。
5. 本部への報告のためプリンターやFAXをお貸し願います。

[お問い合わせ先]

東北地方整備局

住所：仙台市青葉区二日町9-15 電話：022-225-2171（代表）

企画部 防災課 課長補佐 前田直久（内線3412）

計画係長 菊池真樹（内線3421）